

岡山 E S D 推進協議会 令和 5 年度活動方針

【全体方針】

「岡山 E S D プロジェクト 2 0 2 0 - 2 0 3 0 基本構想」で示された分野ごとに策定された重点事業等を実施する。ユネスコの「E S D f o r 2 0 3 0」において、E S D を強化し S D G s (持続可能な開発目標) の達成に貢献することで、より公正で持続可能な社会を構築することが目標とされている。また、「第 2 期 E S D 国内実施計画」においても、S D G s 達成に向けた E S D の役割が記載されていることから、引き続き協議会においても S D G s 達成に向けた E S D の取組を促進する事業の実施を図っていく。

【重点取組① 持続可能な地域づくりの推進】

- 持続可能な社会づくりに向けた市民の理解を進め、岡山地域及び、それぞれの地域コミュニティごとに持続可能な未来の姿を描くとともに、その実現のための連携・協働を推進します。

(1) おかやま E S D フォーラム

市民が E S D 及び E S D 活動について理解を深め、異なるステークホルダー同士が話し合う場を提供する。

開催予定日：11月23日(木・祝) 会場：岡山国際交流センター

(2) E S D 活動団体交流会

前年度の E S D プロジェクト活動助成金交付団体の成果報告を兼ねた交流会及び今年度の E S D プロジェクト活動助成金交付団体の交流会を開催する。

【重点取組② S D G s 達成に向けた実践】

- S D G s の達成に向けた E S D の学びの役割を強調しながら、持続可能な社会づくりに向けた実践に繋がる取組を推進することで、S D G s の達成に貢献していきます。

(1) S D G s 守ろう！海・川プロジェクト

①岡山連携中枢都市圏の自治体と連携し、海ごみにつながる河川のごみ拾いを中心としたイベントを行う(夏、秋の年2回)

② S D G s 海川フォーラム及びパネル展を開催

海ごみ問題に関する情報提供、岡山地域の活動団体による発表、交流会等

・ S D G s 海川フォーラム 開催予定日：2月10日(土) 会場：岡山国際交流センター

・ パネル展 開催予定日：2月13日(火)～14日(水) 会場：岡山市役所 1 F 市民ホール

(2) 岡山連携中枢都市圏ESD実践

①岡山連携中枢都市圏SDGs・ESD研修

岡山連携中枢都市圏市町の職員、住民を対象としたSDGs・ESDに関する研修を実施。
研修を通して、SDGs達成に向けたESDの役割を強調していく。

令和5年度は、津山市、備前市、瀬戸内市の3市で開催予定。

②「未来わくわくSDGsフェスタ」での連携

「未来わくわくSDGsフェスタ」のステージやパネル展示等で連携する。

(3) 未来わくわくSDGsフェスタ

SDGsを学び実践行動につなげるため、ステージイベントや体験型ワークショップなどを行うSDGs普及啓発イベントを開催する。

開催予定日：8月24日（木） 会場：イオンモール岡山 1階未来スクエア

【重点取組③ ユース・人材育成】

- 岡山地域の若者が持続可能な社会づくりに参画するための体制を整備するとともに、地域や団体等でESD活動をリードする人材を育成します。

(1) OKAYAMA×SDGsユースの集い【委託】

SDGsを軸に岡山地域のユース同士の多様なネットワークを広げ、深めていくイベントを行う。

(2) ESDコーディネーター研修【委託】

市民団体、企業、行政関係者等20名程度を対象として、延べ4日間程度の研修を行い、ESDの視点を身に付け、地域課題の抽出や、課題解決のための企画書作りを通して、地域や職場などでESDを推進するESDコーディネーターを育成する。

(3) ESD学生インターンシップ【委託】

大学生等20名程度をインターンシップで受け入れ、社会課題解決に向けて取り組む岡山のNPOや公民館の取組を体験し、持続可能な社会づくりに向けて主体的に参画する若者の増加を図る。開催時期は、夏休み（8～9月）の11日間程度。

(4) ユネスコ／日本ESD賞賞金等による若者向け助成事業の実施

《別添10》

グローバルな視野を持って岡山地域の持続可能な社会づくりに向けた取組にチャレンジする若者等を対象に、研修経費を助成する事業を実施する。

【重点取組④ 地域コミュニティ・公民館・学校でのESDやSDGsの推進】

- 各学校園や公民館、地域団体等の主体的な取組を支援し、持続可能な地域づくりを推進します。

(1) 公民館におけるESDの取組の継続＜公民館＞

2014年のESD推進のための公民館－CLC国際会議で採択された「岡山コミットメント

(約束) 2014」を踏まえ、市内の全公民館で、E S Dの視点を取り入れた活動を推進するとともに、質的向上を図る。

(2) 持続可能な地域づくりに向けた公民館の取組の充実<公民館>

公民館職員研修の中に、持続可能な地域づくりやE S Dを取り入れ、職員の能力向上を図り、地域課題解決のための地域住民の取組が促進されるよう支援する。

(3) 岡山県ユネスコスクール高等学校ネットワーク実践交流会の支援

岡山県内10校のユネスコスクール高等学校が行う学習会や交流会等の活動を支援する。

(4) 教員対象のE S D研修会<教育委員会指導課>

市内全小中学校の教員を対象としたE S D研修会を実施する。

(5) E S Dに係る地域と連携した取組<教育委員会指導課>

学校が地域の方等を招いて授業を実施した際の講師謝礼金を岡山市教育委員会が負担する。

(6) E S D・S D G s 出前教室の実施【委託】

小・中・高等学校からの要望に応じ、E S D・S D G sに係る出前教室を実施する。

【重点取組⑤ 優良事例の顕彰】

- E S D活動のモデルとなる優良事例を顕彰するとともに、多くの市民に発信することにより、活動の活性化と質の向上を図ります。

◆E S D岡山アワード

国内外のE S D活動の優良事例を顕彰し、世界のE S D活動に貢献するため、「E S D岡山アワード」を実施する。

- ・国連大学サステナビリティ高等研究所をはじめとした関係機関によるE S D岡山グローバルアワード運営委員会で募集・審査等を行う。
- ・表彰式へ授賞団体の代表者を招聘する。
- ・授賞団体と岡山地域の活動団体による活動発表や交流の場を設ける。

【重点取組⑥ E S D活動の拡大】

- 持続可能な社会づくりに向けた活動の輪を広げ、公民館や学校以外でも、E S Dに関する地域活動の拠点を増やします。

(1) 岡山E S Dプロジェクト活動支援助成金

《別添11》

岡山E S Dプロジェクト参加団体の活動内容の充実を図るため、活動費の一部を助成する。

(岡山E S Dプロジェクト活動支援助成金 募集期間：3月24日～4月27日)

(2) E S D活動の情報発信

- ・「おかやまS D G s・E S Dなび」のホームページ及びOn i ビジョン「おかやまS D G s・E

SDなび」で参加団体によるESD活動の情報を発信し、活動の見える化を図る。

- ・「ESDカフェ」（毎月第3木曜日）を開催し、様々なESD活動を実践している方やユース活動支援助成金利用者を講師に迎えて、各種テーマについて発表や意見交換などの交流を行う。また、テーマにSDGsを関連づけ、SDGsへの意識づけも図る。

【重点取組⑦ 企業・経済団体の取組促進】

- 企業や経済団体でのESD・SDGsの取組を推進します。

（1）企業向けSDGs研修

企業や経済団体と連携し、企業の社会的責任（CSR）活動や社会貢献活動を含めた、企業向けSDGsワークショップを開催する。

（2）企業等を対象とする岡山市SDGs推進パートナーズ制度との連携

登録事業者への支援を行う。

- ・企業のSDGsの取組促進につながる研修等の実施。

【重点取組⑧ 海外や国内との連携】

- 海外や国内のESD関連組織と一層連携します。

（1）「SDGs守ろう！海・川プロジェクト」（再掲）

①海・河川ごみ回収イベント

岡山連携中枢都市圏12市町で連携し、海ごみにつながる川岸等のごみを各市町の地域の人と市町職員等の協働で回収する。（夏、秋の年2回開催予定）

②SDGs海川フォーラム

海ごみ問題に関する基調講演や岡山地域の活動団体による発表等を行う。

③パネル展

連携市町での清掃活動報告、岡山地域の活動団体の取組紹介等を行う。「SDGs海川フォーラム」、「未来わくわくSDGsフェスタ」と同時開催。また岡山市役所1階市民ホールにおいても展示予定。

（2）公民館とCLCの交流

岡山市の公民館と海外のCLC（コミュニティ学習センター）の間で持続可能な社会づくりに向けた社会教育分野での交流により、お互いの地域コミュニティの活動促進につなげるための意見交換、学び合い、具体的な人員の交流に向けた関係を構築する。

（3）国内のESD推進組織との連携

- ・環境省、文部科学省、ESD活動支援センター（全国）、中国地方ESD活動支援センター、国内のRCEなどと連携し、ESDの推進を図る。

- ・ R C E 国内実務者会議に参加し、互いの活動から学びあい、連携を強化する。

(4) 海外の E S D 推進組織との連携

ユネスコなど海外の E S D 推進組織と連携し、2030年に向けた岡山 E S D プロジェクトの取組を発信するなど、世界の E S D 推進に貢献する。

【岡山 E S D プロジェクト参加団体・岡山市等と連携した取組】

(1) 市民協働事業等との連携

- ・ 岡山市協働のまちづくり事業と連携し、持続可能な社会づくりに向けた取組を進める。

(2) 連携中枢都市圏各市町との連携 (再掲)

- ・ 岡山市が連携中枢都市圏に関する連携協約を結んだ7市4町とともに、職員や市民を対象とした E S D ・ S D G s 研修を年4回実施する。(津山市、備前市、瀬戸内市、和気町)
- ・ 「未来わくわく S D G s フェスタ」のステージやパネル展示等で連携する。

(3) S D G s を推進する産官学民との連携

岡山市、岡山大学、岡山 N P O センターなど S D G s の達成に向けて取り組む岡山地域の団体が行う行事や啓発活動との連携を図る。

◆ S D G s 海川フォーラム及びパネル展の開催

海ごみ問題に関する基調講演、岡山地域の活動団体による発表等。

◆ おかやま S D G s アワード

産官学民が協働で岡山の S D G s の優良事例を顕彰する「おかやま S D G s アワード」の実施に参画する。

◆ おかやま S D G s フェア 2023

産官学民が協働で実施する、S D G s の先進的な取組を一堂に集めて可視化し、学びと交流の機会を創出するとともに国内外に向けて情報発信するイベントに参画する。

(4) 岡山商工会議所青年部との連携

- ・ 岡山市民の日と E S D の啓発を兼ね、「愛ラブおかやま川柳」を共催する。